

毎年、熊野本宮大社で新茶祭を行う「音無茶」は、紀伊山地の霊場本宮の一番茶葉のみで作った、濃い黄金色ですっきりした味わいの煎茶

おとなしちや
音無茶（煎茶）

○特徴：

熊野本宮大社で毎年新茶祭を行う「音無茶」は、熊野本宮大社のそばを流れる音無川にちなんで命名された。紀伊山地の霊場本宮で栽培した一番茶の新芽を揉みあげた、濃い黄金色ですっきりした味わいの煎茶。



○来歴：

平安時代に京都から持ち込まれたのが栽培の始まりとされている。昭和30年代には現在の栽培品種「やぶきた」を導入した。

- 一番茶の収穫：4月中旬～5月中旬
新茶の販売：5月上旬～

○産地：田辺市本宮町

○生産量：煎茶生産量 約400 kg
(H24年度)



○問い合わせ先：JAみくまの（0735-52-1177）

○出荷期間：周年

○販売単位：60g/袋